

感染状況・医療提供体制の分析（2月18日公表）

【岡山県専門家有志】

(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 公表の前週(月～日)の合計	前回の数値 (2月6日公表) 1月26日～2月1日	現在の数値 (2月16日公表) 2月2日～2月8日	前回との比較	分析コメント	
感染状況	① 定点当たり患者報告数 (注:報告者数は、県内50定点医療機関において、1週間に診断した患者数。定点当たり数は、1医療機関当たりの、1週間での平均患者数。)	報告数	76人	74人	➡	感染状況コメント レベル1. 感染者数は一定程度にとどまっている
		定点当たり数	1.52人	1.48人	➡	定点当たり新型コロナウイルス感染症(COVID-19)報告数は1.48人と減少している。全国的にも感染者数は一定程度に落ち着いている。状況に応じたマスクの適正使用、適切な換気が必要。 COVID-19による入院患者は継続的に発生。ハイリスク患者は早期診断・早期治療が必要。
		報告数に占める60歳以上の割合	19.7%	21.6%	➡	
	② 保健所別 定点当たり 患者報告数 (注:定点医療機関は、地域により患者数や患者の年齢構成にばらつきがあり、地域別の単純比較は多少の問題があるが、同じ地域で時系列の変動を見て、流行の推移を見るには有用)	岡山市保健所	1.11人	1.00人	➡	
		倉敷市保健所	2.17人	2.58人	➡	
		備前保健所	2.00人	0.75人	➡	
		備中保健所	2.80人	1.40人	➡	
		備北保健所	1.50人	2.75人	➡	
		真庭保健所	1.00人	1.50人	➡	
		美作保健所	0.00人	0.20人	➡	
入院状況	③ 入院患者数 (入院基幹定点サーベイランスより)		3人	3人	➡	季節性インフルエンザが県内でも流行しており、インフルエンザ警報が発令されている(定点当たり報告数は27.52人)。インフルエンザB型が多い。COVID-19や季節性インフルエンザ後の二次性細菌感染による入院も認められる。
	④ 人工呼吸器利用 (入院基幹定点サーベイランスより)		0人	0人	➡	

*入院状況については、基幹定点医療機関（5箇所）での入院基幹定点サーベイランスより取得。感染状況コメントの中に、医療提供体制に関するコメントも付記します。